

会報

第2号

昭和53年3月 発行
発行者 早稲田ヨット
クラブ事務局

52年度総会

盛況裡に終る

参加者七十名

理事会組織になってから始めてのクラブ総会が一月二十日、午後六時より、日本橋室町グリーで開催されました。

当日、小沢会長はじめ部長の矢頭先生にもご出席いただき、その数七十名とこれまでにない盛況ぶりでした。

先ず会長挨拶の後、杉山総務担当理事の司会で議長に堀江理事長を選出、ただちに総会決議事項の審議に入りました。

【第一案のクラブ規約案については米田委員長より説明がなされ、すでに会員諸氏のお手もとに送附済みの原案通りですが、ただ規約中にある年度は一月一日をもって新年度とするが今年度のみ五十二年三月末日迄を五十二年度とし、同年四月一日より十二月末日を五十三年度とするということになり、全員一致で承認された。

【第二案、クラブ会費の件については、米田総務担当理事、および近藤事務局長より現状報告、および今後の活動方針より

予想して五十二年度、五十三年度と両年度に亘り各年度毎クラブ会員一名一万円という説明がなされ承認された。

向、この徴収方法については事務局長より理事が中心となって年代毎に集めていただきたい旨の予定方針がつけ加えられた。以上重要二項目は原案通り可決ということになり、今後の実際活動に期待されることになった。

続いて頼稲委員長より、現在の状況説明があり、ヤンマーディーゼルよりエンジンをご寄附願ひ、この件に努力して下さった中川OBに対して万雷の拍手で深謝の意を表し、二月中には取換え工事も完了するであろうということであった。

さらに加藤監督より現役の現状説明とヨット部新設員の紹介があり今年こそ優勝してみたいという意気込みと、それに伴って活動上どうしても必要なものについてOB諸兄のご理解ある支援を賜りたいということであった。その他の件として加藤監督より防衛人学OBの羽生氏を特別会員に推薦され承認された。

以上で議事の全てが承認され、この間約二十分引続き懇親会に移った。当日は新名氏、発生川氏、渡辺晋氏等大先輩の

他名古屋から村瀬氏の御出席もあり、新名氏の御発声で意気高く乾杯の後、久瀧を叙す挨拶もにぎやかに何年、何十年かの歳月も昨日の様に楽しく活発な歓談が時間の経つのも忘れて繰り広げられた。

理事会のご報告

総会での決議事項をうけついで、いかにして具現的に運営していくかというテーマで今年始めての理事会(第五回)が二月九日に行なわれました。以下にその要旨をご報告いたしますのでよろしくご判断下さい。

【クラブ会費の徴収方法について】
総会の席上、各年代の理事の方々を中心となつて徴収していただくという方針を予告していましたが、各理事より少なからず異議があり、振込口座を新設して本会報を通じてクラブ全会員にお知らせして一応直接に振り込んでいただき、後しばらくして未納の会員には理事の方々を通じて納入して下さる様働きかけていただくということになりました。

振込先

第一勧業銀行日本橋支店
普通預金、口座番号一四四五七三九
ワセダヨットクラブ 近藤光徳

上記へ振込んで下さいました際には控えをもって領収証にかえさせていただきますが、別途何等かの方法により直接事務局が受けとった場合は領収証を発行させていただきます。

名簿作成の件について

尚現在までにすでに52年度分として35名、53年度として4名の方々より納入下さいました。よろしく御協力下さい。

ここ三年ばかりの間、クラブとして名簿を作成してありませんでしたのでご連絡するもかなりの方々よりあて先不明等の理由で返送されて来ます。現在理事の方々に手数をかけていただいて各年別に洗い直しをやっておりますので、未提出の理事諸氏はできるだけ急いで下さい。

ところで過日、あるOBよりあらゆる年代が機会あるごとに相互の理解を深める一助になればという主旨で、広告を載せてはどうかというご意見がありました。卒業して10年、20年と経ればかなり変わるものです。それは当然ですが、諸先輩が何をしているのか名簿だけでは補いきれないところがあります。ということでこれを前向きに検討させていただいた結果やってみようということになりました。ふるってご応募下さるよう期待しております。

尚、その節には字体、スペース等の相談ごともありますので事務局長近藤(連絡先電話二七二一四六一一内線二八二二)迄一報下さい。

？おたずね

前述の通り、事務局が中心となってクラブ名簿を作成中ですが、同じつくるならこれまで何等かの理由で住所不明となっている諸氏をこの際できるだけ探してみたい意向もありますので次に卒業年度順に氏名を例記しますので心あたりの人はお手数ですが三月中旬頃までに事務局へご連絡下さい。

(数字は卒業年度、略敬称)

- 14 阪原 昌男 15 永田 恒
- 16 石井 博 15 高橋 一
- 16 天野 明治 16 中道 尚志
- 17 高木 謙 17 大森 一樹
- 17 小松 忠雄 17 荻野 光世
- 18 町田 格 18 平工 太計
- 20 三田要之夫 21 氏川豊太郎
- 21 阿山 剛男 21 吉沢 正通
- 25 湯城登四郎 26 鳥居 吉造
- 26 吉川 悟 27 木本精之助
- 28 石井 章夫 28 赤石 聰明
- 34 小山 次郎 37 児玉 彬男
- 38 堀 和夫 39 染谷 真介
- 41 国村田恭子 43 尾本 圭司
- 44 長谷川正勝 46 竹下 映子
- 47 町田 吉生 47 渡辺 崇
- 47 松橋 リリ 47 岩本 成彩

稲龍試乗会

ヤンマージーゼル船より寄贈を受けたエンジンの据付も完了した事から、ヤン

マー、大学の関係者を招いての試乗会を、二月十九日(日)に横浜ヨットクラブにて行いました。当日は多数のOBにもお集り戴き懐かしい横浜の海を一時から一時間半機走、帆走した後、クラブハウスでOB会主催の、パーティに移り、ヤンマーに対し、舵輪・ペナント等記念品の贈呈を行い、感謝の意を表しました。

稲龍二月—三月

スケジュール

横浜ヨットクラブ(岡本造船所)に三月末迄保留させてもらう事になりました。学生は二月二日より三月末迄合宿に入るため、稲龍は全くノリーとなっております。この間にOB乗艇日を設定し度く、御希望の方があれば稲龍委員会(五八八—三三八)宛て御連絡下さい。

四大学クラブレース

クラブとしてここ数年、海に出る機会の一つとして四大学OBレースがあります。従来松本富士也氏(30)が中心で、各大学OBと打合せて秋の「体育の日」に行っています。

関東のワセダ、ケイオー、関西の同志社、関学の四クラブです。今年も関東で実施します。江ノ島ヨット・ハーバー小型艇でやります。具体的には、これから決めてゆきますので、われと思わん方

は、松本氏(〇三—二七—一四〇五一 巴工業)に御連絡下さい。

合宿びらき

二月十一日、建国記念日、三浦半島三戸浜海岸の早稲田小島合宿所で、合宿びらきの行事をおこないました。当日は、うすくもり無風、おだやかな二月の相模灘です。

エビ茶のヨット部旗を先頭に、学生諸君が三戸神社にむかいます。神社の境内も社殿も数日前の節分の名残りで豆だらけ。学生達の手で早速大掃除。手洗鉢もきれいになり、神主さんがそこで手を洗うのを見て、みんな胸温まりました。のりと、おはらい、おみぎ……今シーズンの安全と、全日本制覇を祈願してもらって若人達の顔もきりりとしまります。

合宿所に集まった学生とOBで乾杯。加藤監督夫人の心づくしの煮しめは、外気の冷たさと対比的に温かでした。参加OBは、小沢会長、安藤講師、加藤監督の他に、米田(29)、杉山(31)、原田(36)、北島(45)らの諸氏。防衛大の羽生先生も参加されました。(米田)

現役スケジュール(前半)

- 現在決定済日程次の通りです。
- 4・15—16 六大学レース(葉山)
- 4・22 関東インカレ開会式(釜戸海岸)

- 4・29—5・7 関東インカレ予選決勝()
- 5・26—28 早慶レース (三戸浜)
- 6・第二週 同志社レース (琵琶湖)
- 合宿は、三月中は三戸浜、小島合宿所。四月以降インカレ迄は葉山(合宿所未定)です。(加藤)

高校ヨットマンの応募

全国各高校から優秀なヨットマンが、ワセダを受験します。ヨット部でもテストをして大学に強く推せんしていただきますが、御承知の通りワセダ、ケイオー、トイダイは、やはり勉強で合格しないと、仲々入学につながらないようです。今年の有力応募選手は、茨城、佐賀、広島、岡山、愛知などから、ワセダヨットを目指しています。三月第一週にヨットのテストを行います。(加藤)

新OB就職先紹介(順不同)

- 石川 清志 仙台コココーラ
- 貝出 健 大学院
- 大原 義昭 大原セーラ
- 齊田 治 住友商事
- 酒井 俊夫 協和醸造
- 野口 正文 興和火災
- 橋本 一彦 開隆堂(教科書)
- 光武 勝広 大学院
- 渡辺 亨 本田技研